

## 2023年度 委員会事業報告書

担当副理事長兼専務理事 平野匡彦  
事務局長 伊藤嘉孝

### 1. 委員会開催日（18回）

01/10	02/08	02/28	03/09	04/13	05/11	05/12	06/08	07/06
08/03	08/09	09/07	09/21	10/05	10/19	11/02	12/01	12/15

### 2. 事業報告

(1) 定時総会・臨時総会の担当	01月30日・08月23日・12月20日
(2) 総会の記録管理	01月30日・08月23日・12月20日
(3) わんぱく相撲（5月例会）の担当	05月20日
(4) 西尾張6JC合同例会（9月例会）の担当	09月17日
(5) 西尾張6JC合同事業	04月23日
(6) 日本JC 京都会議の担当	01月19日～22日
(7) 愛知ブロック 名古屋会議の担当	02月11日
(8) 西尾張6JCじゃがいもゴルフコンペの担当	05月30日
(9) 愛知ブロック 愛知ブロック大会西尾大会の担当【西尾】	09月09日
(10) JCI 世界会議の担当【スイス】	11月14日～18日
(11) JCニュースの編集と発行	01月・09月・12月
(12) 総会・例会・各種事業の記録保管の担当	通年
(13) 公開討論会の担当	通年
(14) 名刺作成の窓口	2022年09月
(15) JC会員名簿等に関する窓口	2022年11月
(16) 定款諸規定及び会員名簿の作成	2022年12月
(17) 理事会ネームプレートの発注	2022年12月
(18) シニアクラブ総会の担当	1月
(19) 基本資料の作成	1月
(20) 委員会表彰及び100%出席祝い品の選定	12月
(21) 卒業生記念品の選定	12月
(22) 西尾張6JC正副理事長会議の担当	2022年12月・02月・04月・06月・08月・10月
(23) 理事会議案の作成・精査	通年
(24) LOMポロシャツの発注	通年
(25) 定款諸規定の見直し	通年
(26) LOM運営マニュアルの見直し	通年
(27) 慶弔の窓口	通年

(28) 各諸団体の事業に関する窓口	通年
(29) 総会・例会の出席者確認報告	通年
(30) 新入会員の拡大	通年
(31) 新入会員の育成	通年
(32) その他庶務	通年

### 3. 委員会メンバー

伊藤嘉孝 高鋤佑基 桑原 蓮

### 4. 反省点及び申し送り事項

事務局では、今まで以上に力強く運動発信していくため、先輩方から受継がれる堅実な事務局運営を継承しつつ、時代に則した効率的な事務局運営を取り入れ、メンバーが生き活きと活動する土台を築くことを目的に活動してまいりました。

まずは、事務局運営に関してですが、効率的な理事会運営を目指し、スプレッドシートの活用や、Zoomでの総会・理事会開催を行いました。Zoomでの開催のため、ZoomによるWEBでの会議開催は、参加者にとっては参加しやすかったという声があり、社業で会場まで来るのが難しい方にとってはメリットがあるものでした。しかし、理事会においては、指摘や質問の中にある真意が伝わりにくかったという意見もありました。意見や質問の意図がわからず、真意が伝わらないまま次回の理事会となり、議案の修正が誤った方向になってしまうこともありました。そのため、真意に踏み込むことができず、本質的な議論から外れ、休会や臨時理事会が多数開催される結果となりました。過去の理事会では、議事録に残らない休憩時間に監事から理事にアドバイスするようなこと場面も過去には見られ、議事の中では理解できないことでも直接意見を交わしながら委員長に質問や意見の真意を伝えるようなことも過去にはあり、これはWEB上での会議では難しいことだと考えます。スプレッドシートは、出た意見を上程者が見やすくするため、議案ごとにタブを分け、指摘箇所などでソートができるようにし、質疑やそれに対する返答が分かりやすくなるように工夫いたしました。しかし、スプレッドシートも文字だけのため、うまく意図が伝わらないことがあり、質問の内容により向き不向きのあるツールであると考えます。また、事務局は委員長から提出される議案を確認し、前回理事会や正副理事長スタッフ会議の指摘が正しく訂正されているか確認する役目もあります。ところが、該当年度となり、事務局の計画議案の上程や総会・例会の開催が増えてくると、委員長の議案の確認までいきわたらず、議案配信の期限が守ることができなかつたり、事務局の議案が上程できなかつたりするようなことが度々起こりました。さらに、議事録においては、前回の理事会での意見の確認のためにも、正副スタッフ会議までに提出するよう専務理事から言われておりましたが、事務局メンバーが作り上げてきた議事録も自分自身が確認できず、議事録を溜めてしまうこととなり一度崩れたこの流れを最後まで元に戻すことができませんでした。そのため、これまで先輩方から受け継がれてきた堅実的な理事会運営には遠く及ばない結果となりました。先行して対処できる議案作成や活動を時間がある限り行い、委員長が議案を提出したら確実にチェックする時間を確保することで、議案の精度を高めて理事会に臨み、会議を有意義なものにしていく必要があったと考えましたので申し送りさせていただきます。さらに、本年度の理事会の開催時間について、早い開催の場合

17 時開会や、遅い開催では 22 時開会を試行しましたが、開催時間に関わらず、議案の配信が間に合わないような場面がありました。事務局の議案の遅れもありましたが、委員長が提示する提出時間をそのまま了承し、こちらから強く催促をしていかなかったこともあり、会議直前に議案が提出されることが多発したため、開会直前であっても配信ができなかったこともありました。そのため、委員長に強く議案を催促していき、事務局は当然その時点で完璧な議案を作り上げていく必要がありました。Zoom やスプレッドシートというツールを生かすためにはまずこれらを実践することが大事であると考えます。

第 19 回わんぱく相撲海部津島場所では、子供たちが真剣勝負を通じて礼儀礼節を学ぶ機会とし、メンバーには模範となる着実な設営を見ていただくために開催いたしました。相撲という我が国の国技を通じて子供たちに礼儀礼節を身に付けていただけたと考えます。例会内の場面場面で子供たちが礼儀礼節に基づいて行動している点が見受けられました。しかし、例会の設営には所々に不備があり、保護者の方々、相撲連盟の方々、ボランティアの方々など多くの方々に配慮の欠けた例会となり、メンバーの模範とは言えないような遠い姿となってしまいました。これらも上記の事務局運営につながる部分にはなりますが、議案上程が遅れたことからその後の対応が遅れてしまい、議案も当月審議となりました。その結果、事前資料の作成やボランティアへの説明の時間が減ることで、当日の混乱につながってしまい、模範となる着実な設営とは対照的に、メンバー、参加者、ボランティアの方々全員に失礼な設営となりました。このようなことがないように、早期からボランティアの方々との連携を行っていくことで、設営に混乱がないようにしていく必要がありました。5 月例会で達成できなかったメンバーに模範となる着実な設営を身に付けていただくという点については、わんぱく相撲愛知ブロック大会、わんぱく相撲全国大会、9 月例会、総会の設営や、毎月の理事会の設営において、理事会資料の配信は理事会開催後となってしまうことが多々ありましたが、オンライン開催の理事会設営については Zoom やスプレッドシートの準備などを最後までやり遂げたことは完璧とは言えないまでも一部では模範となる設営ができたのではないかと考えます。

西尾張 6JC 合同例会 (9 月例会) では、日頃から我々と志を同じくして活動する西尾張エリアの同志と共に活動する機会をメンバーに提供し、エリア内の絆を深めるとともに、メンバーの見聞を広めていくために開催いたしました。西尾張 6 青年会議所で行う式典への参加や事業の設営を通じて西尾張エリアについての見聞を広げることができ、共に事業を創りあげることでエリア内の絆を深めることができたと考えます。しかし、本年は、昨年に続いて「西尾張 6JC 合同例会実行委員会」が設置され、様々な意見を交わす機会がありましたが、主管 LOM を担当される犬山青年会議所によって議案が提出され、委員会では議案に対しての意見を出す流れでブラッシュアップしていったため、こちらの方から事業全体について意見を出すことが難しい状態でした。そのため、設営について提示された議案を揉むだけではなく、主管 LOM の担当委員長と基本方針の内容を共有した上で、西尾張 6JC すべての LOM にとって有意義なものとしていくことを考慮する必要がありました。

堅実且つ効率的な事務局運営とは、今までの理事会の質を担保しつつ、理事会の時間を短くしていくことと考えておりましたが、Zoom の活用やスプレッドシートでの議論がうまくいかず、休会や臨時理事会が連発し、理事会の時間が長くなってしまったことから、年間を通して堅実且つ効率的な事務局運営を行うことができず、メンバーが生き活きと活動土台を築くことが難しかったと考えます。しかし、本年試行した Zoom での開催や理事会の開催時間の変更は、今までの原則としていた

「18時45分開催、津島商工会議所会議室で対面開催」という従来の開催方法の合理性にも気づくことができました。特に、理事が監事と直接意見を交わし、意見の真意を伝えることができる点では、対面開催は非常に効率的な開催であることが分かりました。忙しい中でも集まりやすいZoomと直接意見を伝え合う対面での会議双方を条件によって併用することで、堅実且つ効率的な事務局運営につながると考えました。以上で反省点及び申送りとさせていただきます。

## 5. 委員 長 所 見

本年は、2回目の理事として事務局長を務めさせていただきました。事務局は、反省点に記載した通り、やるべきことが多く、年間の最後にもなると報告議案も多々出てくるため、一度歯車がかみ合わなくなると立て直しが非常に困難であると感じました。今になって何事も先んじて様々な議案を構築する必要があったと強く認識します。これは平野副理事長兼専務理事にも予定者段階から度々言われ続けていたことですが、私自身の甘えによって様々な面で手が回らず、それを事前に事務局メンバーに助けてほしいと伝えなかったため、ぎりぎりになってから事務局メンバーに迷惑をかけるという悪循環となりました。その結果、事務局次長とセクレタリーの2人をお預かりいただきましたが、その2人の力を活かし切ることができませんでした。さらに、議案配信の遅れや休会、臨時理事会開催において、理事会構成メンバー全員の貴重な時間をいただくこととなってしまう、多くの方々にご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げたいと存じます。委員長の際は、自分の議案を出せば理事会開催まで特に行うことはありませんでしたが、事務局長はそこから大変で委員長が議案の提出が遅れないよう背中を押すことやサポートしていき、配信する議案を完成させなければなりません。事務局の議案が遅くなれば、当然後にしわ寄せがいき、委員長への連絡ができず、議案の配信が遅れることで多くの方々に迷惑をかけてしまいます。このようになる前に、自分一人ではできないと事務局メンバーや副理事長兼専務理事に助けを求める必要がありました。事務局長という役職を通じて、一人で青年会議所活動に取り組むことが難しく、周りの方々をお願いすることがいかに大切かということを実感いたしました。

また、広報においては例年使用しているFacebookやInstagramだけではなく、積極的にYouTubeを活用し、LOMの活動だけではなく地域の魅力も発信することで、フォロワーを増やし、当青年会議所が地域のために様々な運動を行っていることを知っていただこうと考えておりましたが、上記の通り事務局運営が後手にまわり、YouTubeに関しての発信はうまく行うことができませんでした。

そのような中、最後まで私についてきていただいた事務局の2人には感謝の念に堪えません。また、最後まで至らない私を導いていただいた平野副理事長兼専務理事にも感謝の言葉を述べ、委員長所見とさせていただきます。1年間ありがとうございました。

## 6. 収 支 決 算

収入の部				支出の部			
予 算		決 算		予 算		決 算	
事業費	305,222	事業費	210,998	(11)	80,000	(11)	34,534
				(12)	740	(12)	740

				(13)	15,000	(13)	0
				(17)	34,210	(17)	34,210
				(19)	272	(19)	0
				(20)	50,000	(20)	41,514
				(21)	125,000	(21)	100,000
合 計	305,222	合 計	210,998	合 計	305,222	合 計	210,998